



〔医療法人溪仁会 西円山病院 広報誌〕

にしまるやま通信

NISEMA YAMA TSUSHIN SHIKARO MA TSUSHI NISHIYAMA SHIKARO MA TSUSHI TSUSHIN



- 地域に根ざした医療を目指して…神経内科をより身近に
- 西円山の車窓から～ぶらりお花見バスツアー
- 経営管理部「接遇委員会」の紹介 ●ボランティア活動紹介

＊ ＊西円山病院 外来のご案内＊ ＊

■診療科目	内科・リハビリテーション科・神経内科・歯科
■診 療	午前9:00～12:00 午後2:00～4:00
■休 診	土曜日・日曜日・祝日



地域に根ざした医療を目指して… 神経内科をより身近に

この度、ご縁があって4月から西円山病院に勤務させて頂くことになりました。私の専門は神経内科ですが、すでに宮岸、東、新保、井上といった諸先生が専門医として立派な実績を積み重ねています。ただ、一般的には必ずしも広く知られた専門科とは言えません。

今でも、精神神経科や心療内科と間違われます。私達は手足

の脱力やしびれ、頭痛、めまい、呂律の回りにくさ、飲み込み難さ、歩行不安定などといった症状を中心に診療します。扱う病気は脳血管障害、てんかん、髄膜炎などなど多彩ですが、西円山病院での私たちの役割は主として、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症など、いわゆる神経難病を患っておられる患者様への診療です。私は長い間多発性硬化症を特に勉強させて頂きました。今後は、外来診療も始めさせて頂きます。様々な職能のスタッフと力を合わせて地域医療に貢献できれば望外の幸せです。何卒よろしくお願い致します。



神経内科 深澤俊行先生

多発性硬化症とは…

多発性硬化症は中枢神経系(脳・脊髄・視神経)のあちこちに病巣ができ、さまざまな症状が起こる神経疾患です。例えば、視力障害、四肢の脱力、感覚障害、排尿障害などが繰り返し出現し、患者様によっては徐々に障害が進行します。神経線維を覆っている「ミエリン」という脂肪質のカバーを自分自身のリンパ球などが攻撃してしまう自己免疫疾患のひとつと考えられています。原因は不明ですが、近年の研究成果は目覚ましく、様々な治療法も開発されています。しかし、神経難病の中では、20～30歳代といった比較的若年に発症することが多いため、患者様・ご家族の長い人生そのものに影響し、就学・就労・結婚・出産など、人生の節目の決断にも大きな影響を与えかねません。

西円山の車窓から～ びらりお花見バスツアー

今年は例年よりも肌寒く、何だかパツとしない天気でしたが、参加者は曇り空にも負けず、手を振って病院を出発していきました。昨年同様、5月10～12日の3日間にわたり、大型バス1台と車椅子のまま乗車できるリフト車2～3台にて、病棟看護師とボランティア、



未熟なバスガイドとして医療ソーシャルワーカーが同乗し、花の紹介を交えながらのドライブでした。

円山公園を回り旭山記念公園へ、また路線を変え、大通公園に行った日もありました。連日の気温の低さで、桜が少なく残念でしたが、「あれ！」と一人が言うと、周りの方も見て、「綺麗だねー」「あれはツツジだわー。」と歓喜の声が響きわたりました。参加者の方々は本当に色々な花の名前を知っており、私達は毎回勉強になります。

車内では「さくら」や「春の小川」などを歌いながら、笑顔があふれていました。30分という短い時間でしたが、なかなか外に出る機会の少ない皆さんにとっては最高の時となったのではないのでしょうか。また来年も…、その前に秋の紅葉バスツアーも企画しておりますので是非参加して下さいね！心よりお待ちしております。

経営管理部「接遇委員会」の紹介

西円山病院経営管理部接遇委員会は、専門教育を受けた「接遇インストラクター」を中心に、事務系職員の接遇レベル向上を目的に発足しました。現在では部内各課に役割を担った職員を配置し、新人教育・部内接遇マニュアルづくり・グループ内施設への講師派遣など、幅広い活動を行っております。また、部内で他者評価を取り入れた改善活動を実践するなど、こうした地道な活動が院内全体に波及して全体のレベルアップにつながることを期待しています。



ボランティア 活動紹介

むつみ会

今回は、平成8年より活動している「むつみ会」についてご紹介させていただきます。



現在は14名で、毎月1回、病棟で患者様と一緒に小物や壁掛けを作っています。始めは、「上手にできるかしら…」と不安げな面持ちの患者様も、ボランティアさんの優しい声がけとお手伝いで、作品の完成時には、ニコニコとした充実感のある笑顔に変わっています。最近では、お孫さんへのプレゼントにする方も多いようです。

編集後記

春は毎年やってくるものの、今年はいいい年だなと思うことがだんだん減ってきたようです。

虐待事件、多くの犠牲を出した列車事故。海外でも続く自爆テロ、それを力でねじ伏せる強国の論理などなど、混沌とした時代は終わりが無いようです。

医療と福祉もますます国民負担は増えそうです。介護保険、医療保険しかり。障がい者の自立を目指す法案も厳しく応益負担を強いるとのこと。私たち人間はいったい何を目標しているのでしょうか。

先日見た映画「華氏911」のように少しは批判の眼を持ちたいですね。(S・D)

すべての
お問い合わせは

郵便 〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25 西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

お気軽に
お問い合わせ下さい

● 無料送迎バスのご案内 ● (平成14年12月)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10		10	30		00	50	30	10	30	35
				50					40			50		
西円山病院発		15	50	30	10		10	40	20	30	10	30	05	25
		55			50						50			

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口出発、その他はすべて①番出口となります。